



全国訪問おはなし隊

■1月19日、全国訪問おはなし隊のキャラバンカーが、桜山小学校などを訪れ、児童たちはたくさんの絵本を夢中で読んでいました。



第27回枕崎市表現・ダンス発表会

■2月6日、市民会館で開催されました。市内の小・中学校、高校から9組が出演し、それぞれが体をいっぱいに使ったいきいきとした発表を見せました。



県女性消防団員研修会

■2月7日に枕崎観光ホテル岩戸で開催され、県内19の市町から211人が参加しました。本市消防団の俵積田尚子班長らによる活動事例発表等の後、各市等で防災啓発活動として行っている紙芝居や寸劇などが披露されました。最後には、県防災航空センターの岡留浩二所長による講演が行われました。



立神通り会 節分行事

■2月3日の節分の日に立神通り会主催で行われ、立神通りの各店舗に鬼が出現しました。鬼が訪れた各店舗では買い物客などが、豆まきを行いました。



読書活動の更なる活性化を目指して ～地域の読書活動グループ活性化研修会

2月15日、サン・フレッシュ枕崎で地域の読書活動グループ活性化研修会が県立図書館の主催で開催され、約200人が参加しました。この研修会は、県内で活動する読書活動グループの活性化を目的に、平成25年度から県内各地区で開催されているものです。研修会では、県内出身の絵本作家の季巳明代さんが「感性を育む読み語り」の演題で講演し、読み語りの効果や子どもたちを引き付ける秘訣などについて話がありました。その後、南薩地区で活動する読書グループによる民話やわらべうた、劇などの事例発表が行われました。



▲講演する季巳明代さん



枕崎の環境を詳細に調査 ～鹿児島水産高校でグローブプログラム講演会

2月12日、本市の環境について学ぶため、市市民生活課の職員を講師に鹿児島水産高校でグローブプログラム講演会が行われました。グローブプログラムとは、学校を主体として、全世界の人々の環境に対する意識の啓発等を目的に環境観測を行う国際的な教育プログラムです。平成25年度から2年間、鹿児島水産高校の海洋科栽培工学コースが取り組んでいます。同コースでは、このプログラムを通して、水質調査や環境保全活動を継続することにより、鹿児島県の水圏の環境問題について考えることを目的に研究を続けています。本市における水圏以外の環境について学ぶため、今回講演会が実施されました。

石川瑛介くん(2年)は「講演を聞いて、より枕崎の環境について知ることができたので、毎年実施している花渡川の水質や底質調査実習にも生かしていきたいです」と話していました。

観光資源の魅力を再発見

～観光フォーラムin枕崎

2月15日、市観光協会主催の観光フォーラムin枕崎が南薩地域地場産業振興センターで開催されました。これは、南薩の観光資源の再認識と地元のおもてなしの向上を目的に開催され、約200人が参加しました。

講演では、NPO法人かごしま探検の会代表理事の東川隆太郎さんが「南薩の魅力再発見」と題し、南薩地域で面白く、魅力的なスポットの紹介などを踏まえ観光に対する取り組みで大切となることなどについて話がありました。その後、南薩地区を中心に活動をする団体などの事例発表や地元バンドを中心としたライブも開催されました。また会場内では、まくらざきマルシェも開催され、参加者は枕崎の観光資源について改めて考える機会となりました。



川辺チーム健闘の総合3位

～第62回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第62回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月14日から5日間の日程で開催され、川辺チームは総合3位と健闘しました。

初日の14日は本市を通過。第8中継所の枕崎市役所には多くの市民が集まり、通過する選手に声援を送っていました。また中継所では恒例となった「まくらざきハーモニネットワーク委員会」による茶節と腹皮の唐揚げの振る舞いもありました。

本市関係者では、田畑庸祐選手(立神中出身)、二宮僚麻選手(別府中出身)、茅野雅博選手(別府中出身)が出場し、力強い走りを見せていました。



ほっとホット
フォトニュース



給食センターを優良共同調理場として表彰 ～県学校給食優良学校等表彰

本市学校給食センターが、県内の学校給食の改善充実を図るため、学校給食の指導・管理に多大な成果を上げている県学校給食優良共同調理場に選ばれ、表彰を受けました。給食センターでは、地産地消の推進や給食連絡帳を通じた学校との意見交換、ホームページでの献立等の紹介など家庭・地域との連携を積極的に行っており、今回それらの取り組みが認められ表彰されたものです。

山本愛栄養教諭は「給食センターだけではなく、学校や地域の方々の協力があってこそその表彰だったと思います」と話していました。



桜山国民学校卒業生同窓会を開催

～投稿者：トツガネ会

投稿

1月24日、城山センターで桜山国民学校の昭和20年卒業生の同窓会を開催し、16名が参加しました。同窓会の名前はトツガネ会。桜山の城山にある時鐘から名付けました。この同窓会は、50歳を迎えた年から毎年開催し、81歳になった現在でも続いている仲の良い同窓会です。同窓会では、亡き友人たちに黙祷をささげた後、食事をしながら、今もこうして集まれることに喜びを感じ、「来年もまた笑顔で会いましょうね」と話の尽きない1日を楽しみました。